

## 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	個人情報の保護に関する対応。 一人ひとりの尊厳を守る精神面への配慮。	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊ねるような言葉掛けや対応はしない。排泄の誘導や介助、失禁時の対応・プライバシーに配慮する。	援助が必要な時も本人の気持ちを大切に考えて、さりげないケアを心がける。声掛けや対応に気をつける。	3ヶ月
2	5	帰宅願望がある利用者で、午後から夕方に掛けて出口を探し、徘徊が始まる。入浴介助時等、スタッフが手薄のことが多いので、対応が難しい。	帰宅願望時に、出て行こうとする人を無理に止めない。 玄関に施錠をしないケア。 解除に向けて取り組む。	利用者が外出しそうな様子を察知したら、止めるのではなく、さりげなく声をかけたり、一緒についていく。職員の見守り方法を徹底し、また、一人一人のその日の気分や状態をきめ細かく、キャッチすることで、鍵を掛けずに自由な暮らしを支援する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。